

## 《競技規則と注意事項》

- (1) 選手・役員以外は競技場内への立ち入りは禁止とし、選手は競技服装とする。
- (2) 大会運営や審判の判定などにクレームまたは抗議、批判などは一切禁止とする。
- (3) リレーの選手に変更がある場合、2名まで変更できる。変更の場合、選手招集場所のテントにあるオーダー変更届を、リレー招集開始時刻の1時間前までに選手招集場所にいる係員に提出すること。ただし走順のみの変更については、オーダー変更届の提出不要。点呼（コール）時に係員へ走順を申し出ること。  
※選手変更の場合、大会にエントリーしている選手のみ変更可能。
- (4) スパイク使用可（トラック競技と走り幅跳びのスパイクピンは9mm以下、走り高跳びのみ12mm以下の平行ピンとする。）ただし、小学生1年生～4年生は禁止する。
- (5) スタートブロックは、小学生は使用しないものとする。
- (6) 小学生リレーのみブルーゾーンを使用しないものとする。
- (7) トラック競技出場者は決められた招集時刻（競技開始時刻20分前～10分前）に選手招集場所で点呼（コール）を受けること。なお、招集時刻が過ぎれば棄権とみなす。  
3000mに出場の選手のみ、開会式の参加は任意とする。  
フィールド競技出場者は決められた招集時刻（競技開始時刻20分前～10分前）に各競技場所で点呼（コール）を受けること。なお、招集時刻が過ぎれば棄権とみなす。
- (8) フィールド競技とトラック競技が重なる場合は、原則としてトラック競技を優先し、フィールド競技が重なる場合は走り高跳びを優先します。
- (9) 年齢制限のある競技については大会当日の満年齢とし、違反があれば失格とする。  
※ ただし、中学校を卒業した15歳の方は16歳として取り扱う。
- (10) トラック競技で、2回目以降にフライング（不正出発）をした者は失格とする。
- (11) トラック競技は、全てタイムレースで順位を決定する。
- (12) トラック競技出場者は点呼（コール）時にナンバーカードを受け取り右腰に付ける。（1500m・3000mは両腰に、リレー出場者は全員が右腰に付ける。）  
※ ただし、走り幅跳びは試技順にシールタイプのゼッケンを胸に付ける。
- (13) フィールド競技の競技方法は次のとおりとし、ファール時は計測しない。  
○走り幅跳び・・・3回跳び、一番よい記録をとる。  
○走り高跳び・・・3回続けて失敗すると次の高さを試技できない。  
・小学生女子は80cmから、小学生男子は90cmから5cm毎、中学生女子は100cmから、中学生男子以上は110cmから5cm毎にバーを上げる。  
・小学生の背面跳びは禁止とする。
- (14) ウォーミングアップ・練習について  
競技中はトラックの使用を禁止します。ただし午前9時から35分間はトラックの使用可とし、50mと100mの競技中はバックストレート側の走路の使用を認めます。  
フィールド競技は準備が出来次第、審判長の指示により練習可。  
※ ただし、開会式前は会場準備中のため競技役員の指示に従うこと。
- (15) その他、競技に関しては、日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項に基づいて行い、競技中の負傷については、主催者側で応急処置を行うが、その後の治療については個人負担とする。